

【不飽和土（物理・化学的性質）】（発表：8編）

土の保水性試験において，加圧膜法は水分量の平衡に至る時間が短く，特に吸水側の低サクション領域の評価が加圧板法と大きく異なる事が報告された。これは不飽和土の時間依存性挙動であり，三軸試験などにおけるひ

ずみ速度依存性とも関連して今後明らかにすべき重要な課題である事が議論された。粘性土の保水性試験を短くするための報告も数件あり、実務上での有益性は認められるが、適用に当たっては時間依存性の影響を十分評価する必要がある。 (文責：京都大学 肥後陽介)